

教育目標

自主積極・和親協力

重点目標： さわやかな生徒 わかるまで学ぶ生徒 たくましく鍛える生徒

重点教育課題

- 確かな学力の向上を目指し、学習意欲を高める。～基礎的・基本的な学習内容の確実な定着から～
- 自治意識の高揚を目指し、生徒活動を活発にする。～積極的な生徒指導による自己指導能力の育成から～
- 心身の健康を目指し、食育・健康教育の充実を図る。～健康三原則（調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠）から～

地域の特性

- 佐渡のほぼ中央に位置し、商業、交通の中心地
- アパートや大型店の進出が激しく人の交流が多い地域
- トライアスロン大会や伝統工芸、芸能等、新旧の文化が根付いた地域

生徒の実態

- 素直で実直な生徒が多く、諸活動に熱心に取り組む。
- 自主的、自治的に取り組もうとする姿勢が不足している。
- 共に高め合い、向上しようとする気持ちが望まれる。

地域の願い

- 望ましい生活習慣の定着
- 認め合い、支え合う人間関係

保護者の願い

- 基本的な生活習慣の定着と道徳性の向上
- 学力の向上
- 自主性や責任感の育成

生徒の願い

- 安心して学べる場
 - ・学力の向上
 - ・豊かな人間関係
 - ・自治意識の向上

- 地域の人材活用
- 開かれた学校

社会・国からの要請、学習指導要領等

〈県の小・中学校教育の重点事項〉

- 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
- 豊かな心などをはぐくむ教育の推進
- いじめを見逃さない、いじめを許さない意識の醸成
- 健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実
- 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進
- 郷土愛を軸としたキャリア教育の推進

〈佐渡市の学校教育の方向〉

- 意欲をもち、確かな学力を付ける教育
- 郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育
- 生きがいを見付け、自立を目指す教育

〈学校教育支援事業〉

- 「じっくり学習し、豊かにかかわる学習活動」の展開
- 人生講話、体験学習、各種検定受検
- キャリアセミナー
- 「夢作文」の作成

学校関係者評価委員会

地域との連携・協力

- PTA、ボランティアネットワーク等との連携
- 職業意識形成支援事業（労働局）による支援
- 部活動の外部指導者の支援体制
- 地域学校連絡協議会との「中1ギャップ解消プログラム」の推進
- ハローワーク、地域の経営者や、商工会との連携による「キャリアプログラム」の推進

学習指導

○「教えること」「考えさせること」を明確にし、主体的な学びを目指します。

〈生徒には〉※教育活動

- ・「分かる喜び」「できる喜び」「努力したことが認められる喜び」を感じさせ、基礎的・基本的な学習内容が定着するようにします。

〈教職員は〉※運営活動

- ・「教えること」を確実に教え「考えさせる」ための発問を工夫し、学ぶ意欲を高める学習過程を工夫します。
- ・確かな評価資料による絶対評価を工夫し、生徒が成就感を感じる評価を行います。

〈成果として〉※成果

- ・教研式標準学力検査で全国基準値及び前年値を上回ります。
- ・学習についての意識調査で、学習意欲の向上が見られるようにします。
- ・「家庭学習」の充実を図り、授業との接続に努めます。

心身の健康

○豊かな心と体力向上を目指した環境整備に努めます。

〈生徒には〉

- ・JRC精神を基調とし、他を思いやる心や認め合う心、喜びを共有できる心などの豊かな心が育つようにします。
- ・保健体育の時間や運動部の活動を通して、体力の向上や健康の保持増進のための実践力を育成します。

〈教職員は〉

- ・学年、学級経営を充実し、確かな居場所づくりと温もりのある人間関係づくりに努めます。
- ・健康三原則について、生徒や家庭に働きかけます。

〈成果として〉

- ・いじめのない学校と不登校の減少を目指します。
- ・学校生活についての意識調査で、安定した人間関係や楽しい学校生活、思いやりの心に関する数値の増加が見られるようにします。
- ・体力テストの結果が、前年度を上回るようにします。

特別活動

○学級学年活動や生徒会活動、学校行事等を活発化し、自治意識の高揚に努めます。

〈生徒には〉

- ・話し合い活動を通して、自分たちの問題点に気づき、その解決のために行動できるようにします。
- ・自ら企画したボランティア活動に積極的に取り組むようにします。

〈教職員は〉

- ・生徒との語らいや活動を共にする中で人間的触れ合いを深め、よりよい生き方への自覚を促します。
- ・生徒の発想や創意を大切にし、成就感や所属感を感得できる指導法を工夫します。

〈成果として〉

- ・ボランティア活動への参加人数の増加を目指します。
- ・学校生活についての意識調査で、課題意識と満足度、話し合い活動に関する意識の向上が見られるようにします。

「キャリア教育」の充実（総合学習・学級活動を核として）

- 「キャリアプログラム」による生き方指導としての進路指導を充実し、社会的自立力の育成に努めます。
- 自ら課題を設定し、他者と関わりながら積極的に解決を図りつつ、新しい自分を創造する生徒を育成します。

情報教育 進路指導 人権教育 同和教育 国際理解教育 環境教育 体育・健康に関する指導

「生徒指導の充実」を柱とした学校づくりに努めます。（学級づくりと生徒会活動を基盤として）

- ～基本的生活習慣の確立と三つの喜びを感得できる積極的な生徒指導を推進します。～
 - 互いに分かり合えた喜び（共感的人間関係）
 - 自分〔自分たち〕で考え、やり遂げた喜び（自己決定の場）
 - 人のために役立って認められた喜び（自己有用感）
- ～教育相談や生徒との触れ合いの場を大切にし、一人一人の生徒理解に努めます。～

小・中連携による「中1ギャップ解消プログラム」の推進